

## ステークホルダーの皆様へ



### 社長交代・新経営体制発足の背景

クラレグループは2026年に創立100周年を迎えます。2021年は、創立100周年に向けた新たな中期経営計画を策定する年となりますが、構想段階から新しいリーダーのもとで推進することが望ましいと考え、本年1月に川原仁にバトンを渡しました。

私は2015年1月の社長就任時より、社長としての在任期間は6年±1年と考え、私が考える経営課題に取り組むと同時に、後継者の育成、人事を進めてきました。複数の後継者候補の中から、経営諮問委員会の助言を受けながら候補者を絞り込み、最終的に

川原仁が選出されました。苦しい局面でも逃げずに真摯に取り組む責任感の強さやどんな時にも明るさを失わない性格など、本人が持っている優れた資質に加え、数々の事業における国内外での幅広い経験と、経営企画部門で培った全社視点での深い考察力を有していることが選出された大きな理由です。

私は今後、代表権のない取締役会長として経営の監督・監視に力点を置いて、クラレグループがより良き企業グループとなるよう、尽力して行く所存です。

### 6年間の在任期間を振り返って

私が社長に就任した2015年は、中期経営計画「GS-STEP」（2017年度までの3か年）の初年度でした。前年に米国デュポン社から買収したビニルアセテート関連事業の統合とシナジー創出、バイオマス由来のバリア材事業を展開する豪州プランティック社の買収、そして当社子会社の活性炭製造販売会社であるクラレケミカルの吸収合併など重要施策の成果を結実させることで、「GS-STEP」最終年度であ

る2017年度は業績目標には届かなかったものの、期間中の売上高、営業利益は3期連続で過去最高を更新しました。

2018年度から2020年度までの中期経営計画『PROUD 2020』では、競争優位の追求、新たな事業領域の拡大、グループ総合力強化、環境への貢献を経営戦略とし、ビニルアセテート関連事業に次ぐ柱の育成として世界最大の活性炭メーカーであるカル

# 新しいトップにバトンを繋ぎ、 次の時代へ

取締役会長

伊藤 正明

ゴン・カーボン社の買収と統合を進めるとともに、同事業のさらなる拡大を目指して米国および欧州での設備増強を決定しました。またイソプレン関連事業ではタイ新工場の建設投資を決定し、工事を進めています。さらに、光学用ポパールフィルムの設備増強や水溶性ポパールフィルムの米国既存工場増強と欧州新工場建設の決定など、成長に向けた施策を着実に実行し、将来の安定したポートフォリオ構築への取り組みを行いました。

しかしながら、各事業や研究開発における新規開発テーマ実現と業績貢献の遅れ、米国子会社の火災事故の影響による販売減少に加え、計画最終年度の

2020年度にはCOVID-19の世界的な感染拡大により経済活動が停滞し、多くの産業で需要が減退した結果、最終年度は業績目標に対して大きく未達となりました。米国子会社での火災事故に関しては、「安全はすべての礎」という言葉を企業ステートメントの行動原則として掲げ、グループ全社で安全活動に積極的に取り組んで来たにもかかわらず、外部作業員の方々が負傷するという火災事故を発生してしまい、悔しく残念な思いでいっぱいです。このような事故を二度と起こさないよう、マネジメントシステムの改善、教育・訓練の充実とリスクアセスメントの徹底を本社主導で実施しています。

## 【ステークホルダーの皆様とともに

2021年は次期中期経営計画をしっかりと議論して策定する重要な年となります。新しい経営体制のもと、『PROUD 2020』で投資決定したイソプレンのタイ新工場建設の着実な推進、環境ソリューション事業におけるカルゴン・カーボン社との統合シナジーの加速・拡大や、ビニルアセテート関連事業のより一層の強化を行います。加えて、新規事業の創出など

経営の諸課題に対し、総力をあげて対処していきます。私は取締役会長として、クラレグループの中長期的な成長の実現をサポートし、ステークホルダーの皆さまのご期待に応えてまいります。

今後とも、クラレグループに対し、倍旧のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。